

No. 72

2009

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
林 稔
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

うし年の、 市田柿の故郷は冬化粧



忘れ去られた朱い実に綿帽子。地域の活性化に私をもっと役立てて。

アメリカのサブプライムローンに発した金融市場の混乱が、瞬く間に世界中を巻き込み大不況に突入してしまった。昨年暮れから、突然解雇され職ばかりでなく住む所までなくして、路頭に迷う人達が空前の数に達した。

一企業ではどうしようもない状況下とは思いますが、即刻解雇する大企業の姿勢が問われる。また国民の生活と安全を守るのが国の最低限の務めと思うが、即断する企業と牛歩のごとき国政が歯がゆい。解雇された本人としてみればそれこそ徒手空拳の状態だろう。そして、今年はいろいろな面でその影響は地方にも顕在化してくることが心配だ。

昨年のガソリン価格の乱高下も何だったのだろう。世の中あらゆるものが投機の対象になって正常な社会とはいえない状況を人間の性を作り出し、その社会で人間が生活し苦しんでいる。もっと利口（正直）な社会にならないものか。さて今年は丑年である。鼠根性におさらばし、誰もが希望の持てる社会に向け、牛歩ではあるが確実に前進する世の中となるよう、昨年の漢字「変」革（チェンジ）を期待したい。

区の情勢について

区長 林 稔

新春を迎え、区民皆様のご健康とご多幸を祈念致します。

昨年は百年に一度といわれる世界規模の金融危機など多事多難な年でありましたが、今年は四方平和で心穏やかな年でありたいと願うものです。

下市田支館事業「写真で残す萩の郷」が刊行され全戸に配布されることになりました。高寿会・史談会の方々による「萩山のさと」二集につづく第三集として後世に残るものになります。

下市田支館を中心に関係皆様のご尽力によるもので、心から感謝申し上げます。

巡礼沢神社林の保安林改良事業は、遅れていましたが、下刈り間伐の整備が済み植樹が始まります。

アカマツは尾根の一部に三十本程が残るのみ。他は広葉樹とする。斜面はヒノキ林の他残存木も生かしながら斜面保全効果の高い広葉樹林を組み合わせ四、五千本を植樹する。

区内工事については、黒沢川と江戸ヶ沢川との合流地点での改修工事が行われ



ており、農免道路工事は黒沢川を平面交差する橋梁の下部工事を行っております。農免道路は下市田工業団地南端から下水処理場間が未開通ですが、黒沢川の橋と左右の連絡道路の完成で二十一年度中の開通が見込まれます。又、下市田工業団地内の公共下水工事は、二月末完了予定です。

県警交通機動隊南信方面基地は三月で工事が終了、四月から稼働予定。

昨年末には萩山神社の氏子総代が改選され、新たに一区、三区、六区の氏子総代が選出されました。四年間ご苦勞様でした。新たに選任された方々のご活躍を期待いたします。

役を務められ、区の発展のためご尽力をいただき、誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。



新任氏子総代の紹介と新しい体制

氏子総代長 中塚昭美

新しい年を迎え皆様方には御健勝の事、お慶び申し上げます。昨年十二月期に総代が入れ代わりとなり、平成十七年から四年間お務めをいただいた三人の皆さんが今度退任される事となりました。長い間お宮に関する事業に奉仕され、又後任の指導に尽くされました事を深く感謝を申し上げる次第です。

新組織は、総代長中塚昭美(四区)、副総代長伊奈川和彦(五区)、会計松島和

委員会活動報告

防災委員長 竹村征夫

日頃から防災委員の活動に対しご協力ご支援に感謝申し上げます。

平成二十年度の活動は、五月の年次計画に基づき、九月七日の防災訓練の準備に入りました。今回は、防災訓練に集まって来た人たちを災害避難民と仮定しその人たちの人数、性別、健康状態等を把握し、その場の状況を判断。不足している物を役場に報告する事を

加えました。今回は、特に独立世帯・アパート居住者に防災訓練を理解して頂き、訓練に参加してもらうよう働きかけましたが、独立家庭及びアパート居住者の参加は確認できませんでした。

防災訓練は、十数か所で訓練参加人数計九百五十九名、訓練内容は初期消火訓練、消火栓・小型ポンプを使つての放水訓練、仮設トイレの設置、三角巾訓練。又、公民館での避難所開設を行いました。情報伝達訓練を行いました。

練では約七〇%の人たちが二十五分以内に連絡を完了することができました。

防災研修会を一月から二月にかけて行います。区内を三か所に分けて、地震が発生した時あわてずに行動できるようビデオを使つての勉強会、ダミーを使つての心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使用法等を高森消防署員の指導で行います。訓練は繰り返すことで、身につくものです。何度でも参加して身につけてください。

由(二区)、新任氏子として、今村秀雄(一区)、仲平清(三区)、北林敏良(六区)の方々が務める事になります。よろしくお願い致します。未熟な総代長ですが、氏子の皆様方のご支援助とご協力を戴き、又総代一丸となり一生懸命役目を果たしたいと思ひます。

昨年(牛)は辛抱強く気の優しい動物の様です。私等も今年は気丈に頑張り良い年になる様に心掛けたいと思ひます。

元旦の初詣参拝には氏子の皆様大勢の方々にお出掛けをいただき、又元旦の祭祀も区長を始めとして、関係皆様方のお勤めをいただきありがとうございます。尚、年間数多い事業に際し、区長を始めとして、氏子の皆様方、又担当当番常会の方々にご協力をいただき賑やかで楽しい祭典が出来ます様に宜しくお願い申し上げます。

苦あれば楽あり、願ひ事は神頼みと云う諺があります。萩



会計 松島和由 副総代長 伊奈川和彦 総代長 中塚昭美



六区 北林敏良 三区 仲平清 一区 今村秀雄

平成19・20年度 公民館活動を 振り返って

代議員会長

田中幸蔵



昨年の漢字一字「変」に表現される様に、世界的に百年に一度と云う危機に直面した我が国に於いても、米国のサブプライムローンのおおきくを受け、格差社会を始め企業に於いても雇用問題がクローズアップされている今日、特に若年層の

区会
計

福島正夫



区と公民館は事業活動面で表裏一体であり、区は主として区内行政を担当し、公民館は主として区内の文化活動を担当する両輪です。公民館活動の事業費は区全体の事業費の中で一割弱で積極的な活動を頂いています。

区としては区の広報活動でもある区報「萩の郷」の就職活動に大きな影響を落している事は誠に痛ましい限り。世の中いかなるシチュエーションに於いても忘れてはならない事は、人は人の道として常に優しい心を持つていけば、必ずや安心安全な地域作りが出来るのではないのでしょうか。

発行を年間三回（六月・十一月・二月）、支館（支館三役、部員二十名）へ委託を行い大変お骨折りを頂いていまして書面をお借りし感謝を申し上げます。部員の皆様は全員勤めを持っていて、本職の仕事をしている中で、区民会館へ集まり、原稿の手配、編集、印刷依頼と配布準備を経て区民の皆様にお届けされています。区報の発行経費は全額区の事業費の総務費の中で予算化されています。支館の皆様は発行に向けて御努力されている中で、御苦労は、やはり原稿依頼にあります。区としても区民の皆様、積極的な原稿の投稿と、スポーツであり、サロンであると考えます。最近時に耳にする事は事業の廃止傾向にありますが、老いも若きも明日の未来ある下市田の発展の為に一層の公民館活動に積極的に参画、協力して欲しいものです。

この度、「写真で残す萩の郷」写真集が支館部員を中心に完成され、各戸へ配布される運びとなります。明るい社会が開ける様、公民館活動の益々の御活躍を期待しております。

分館長
会
長

棚田利宣



又支館部員よりの原稿依頼を受けた場合は、是非受諾御協力下さいますようお願い致します。原稿の投稿御協力により、より親しみのある区報「萩の郷」となることを確信するものであります。

公民館の行事は例年同様、に町公民館、下市田支館、各地区分館と多岐に亘っております。多くの先輩の皆様、区民の皆様御指導と、御協力を得て数多くの行事を無事遂行することが出来ました。町公民館では、春はスローピッチソフトボール大会、ソフトバレーボール大会。夏は盆野球大会。秋は二年に一回の町民運動会、町ふるさと祭りにおいては支館では区役員・支館三役・分館長・主事・女性ふるさと役員の方々と協

支館部
長

新井光浩



力をして、無料おしるこ店を出店参加をしております。冬はペタンク大会があり、どの大会も各分館、二十二人対抗の競技となっております。支館では萩の郷祭り、文化祭り萩の郷ふれあい広場、又区民広場にて消防ふれあい広場も初めて行われ、消防自動車・火消し訓練等楽しい思い出が出来たことと思います。春には萩山神社春祭りに参加をし、又各地区分館では、独自の行事を色々と計画実行をしております。

地域の皆様との出会い、感動を与えていただき、楽しい思い出が出来た二年間でした。分館長の任も残り少なくなりましたが、皆様の御協力、御参加をありがとうございました。

初めの試みとして、「写真で残す萩の郷」という名目で、過去に区報に登場した下市田区内の史跡をチョイスし、写真集として形にする作業をしました。もうすぐ完成です。

私の四年間の任期が走馬燈のようによみがえるこの頃ですが、無事やってこれたのは、地元の方々の御理解、区・支館三役の御指導、部員の皆様の御協力があったからこそと感謝する次第です。ありがとうございます。

萩山郷土芸能保存会

幹事長 小林猛邦



子を討つ話が太筋です。

伊那谷の春一番

は萩の郷からで、今年は三月二十八日宵祭り、二十九日本祭り、出砂原・パース駐車場で祭り公開。安養寺より萩山神社へと予定しております。

大勢の方々が御観覧頂き、三人の子供と勇壮な獅子舞を堪能して頂ければ幸いに思います。

平成二十一年度

幹事会役員

幹事長	五区 小林猛邦
副幹事長	二区 下島秋利
会計幹事	六区 北沢祐次
副	六区 長坂公功
副	一区 勝又育司
備品幹事	一区 加藤隆雄
副	四区 串原輝樹
幹事	二区 倉沢成章
副	三区 小本曾仁寿
幹事	三区 久保田敏夫
副	四区 原好文
幹事	五区 佐々木茂
副	五区 宮下清秀
獅子部幹事部長	副 小川修
獅子部幹事部長	副 原文夫
獅子部幹事部長	池野剛
獅子部幹事部長	坂牧博夫
獅子部幹事部長	副 新井光浩
獅子部幹事部長	上沼春樹

高森町に暮らして

四区 江口直子

ゆき、伊那谷の雄大で広がりのある山々や空は、

私たち家族が主人の仕事の関係で高森町に住み始めて九年になります。九年前の三月、高速道路を南下しながら、実家のある長野市にはもう気軽に帰ることは出来なくなるといって、出て来た。考え、ぼんやりと窓の外を眺めていました。その景色が、住み慣れた北信とは徐々に違った雰囲気になって

引越しの次の日、保育園に入園した上の子も、今年が、住み慣れた北信とは徐々に違った雰囲気になって

随想

下市田に嫁いで五十年を想う

五区 小川千恵子

界しました。

昨年は大変な年でした。安で大変な年でした。私も市田へ来てからもう五十年にもなります。当時

は毎日仕事仕事と働き、今の様に家族で食事に行く事もなく、一ヶ月に一度在所へ行くのが唯一の楽しみでした。

私が三十九歳の時、子供は高校二年、中学二年、小学校五年、それに二人の親を残して夫は四十三歳で他

に育成牛を飼っていて、無我夢中で働きました。土日には子供達も手伝ってくれ

本分に助かりました。当時

は田も手植えでした。人を頼んで苗取りをして貰い、代を置いて水を少なく

して筋をつけ、そこへ手で植えたのです。田んぼへは牛の餌のイタリアンも二毛

作で作って、刈ってサイロへ詰め込み、石を乗せます。沈んでくると、又石を取っ



日帰りで遊びに行くこともあります。実家に行くたび高森がどれだけ住みやすくて素敵な町なのかを大いに語ってきます。

最初の頃は「実家へ帰る」という感覚でしたが、それがいつの間にか、実家のある長野市から車を走らせて南に行くにつれ「帰ってきた」と思うようになりました。

子供時代、ひとつの土地に長く住むことがなかった私は、高森をふるさととして成長している我が子達を、心からうらやましく思っています。

色々と出費が多くなり農家も大変です。河原には黄色に実った稲。軒下には柿すだれが眺めれる郷土を、これからの子供達の為にも、若い人達が守ってほしいと願っています。

秋になると、稲刈りが始まります。一通りずつ刈ってほごにかけ、そして脱穀です。こいて一袋ずつ田から出す時は本当に大変でした。

今は田植え機で、乗っ

ていて一日で植えてしま

い、秋の稲刈りも四隅だけ刈っておけばコ

ンバインで刈ってくれ

ます。本当に体は楽が出来る様になったけど、



わたしの作文 ぼくの作文



練習の時も、一緒に練習するペアはいないし、大会で、ペアになった人の足手まといになってしまうことがあったからです。でも、四年生最後の大会で、「他の団の人と組めてよかった」と思いました。それは、ペアの人と友達になれたから



今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

三年生の時、私はスボ少のバドミントンに入りました。ただ、「お姉ちゃんが入っているから」「少しは運動したほうがいいから」などという理由で入りました。でも今は入ってよかったと思います。私が三年の

バドミントン

小六 酒井恵理 (一区)

頃は、同じ学年の人が私を入れて四人い

年生のお手本にならなければなりません。そのために、クラス全員が、いろんな事に積極的に取り組み、頑張

Challenge (挑戦) Cooperation (協力) Change!! (変化)

中2 橋都萌美 (4区)

去年は、私のクラス二年三組にとって、とても良い年でした。中学校の文化祭では、音楽会で合唱の発表をしますが、一年生の時は、賞を取れなかったの、今年「金賞」という目標に向かってがんばって練習をしました。始めのころは、歌い出しが合わなかったり、音が

ばなりません。そのために、



地域の紹介

元旦マラソン

四区副自治会長

北原 政利

しやすいコースや距離を選定し、発足しました。開催当時は、

昨年はマラソンの当たり年でした。今年五十人ほどに増えて盛り上がりました。

全国都道府県

対抗、長野県縦断、全国高校の

駅伝三大会をつぎつぎに制覇して「マラソン信州」の名声を高めました。

この様な節目に、下市田四区の特筆すべき紹介ともなれば、恒例の「元旦マラソン」を外すわけにはいき

ません。

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

今年十八回目に至ったいきさつは、元長野県代表ラナーの林 清志さんらが中心となり「ふれあい活動」の一環として、誰もが参加

ふるさと祭り 「ミニニティント村」

下市田「おしる」店」出店

平成二十年度の高森町ふるさと祭りが十一月十四日・十五日の二日間、開催されました。この祭りに下市田区として毎年恒例のおしる店を今年も出店しました。店のメンバーは店長の龍口副区長を先頭に、下市田公民館三役、各分館の分館長・主事・女性ふるさとの代表者の方々と、計二十八名のスタッフで運営いたしました。



提供する食数は三百食程度とし、二日間で二千三百食を提供しました。お客様は町内は勿論、御前崎市の観光キャンペーンガールのご一行様や、県外から来られた方も来店していただき大変好評でした。来年度も皆様、下市田おしるの店にお出かけ下さい。

朝比記

下市田のみなさん こんにちは

二区出身 朝比久雄

(名古屋在住)

私は、「若宮」の三男坊で、兄二人、姉三人、妹一人の七人兄弟に産まれました。六回目の丑年を迎えた私は七十二歳、下市田を離れて五十数年になります。丑年にちなんで、私が少年時代に飼育していた乳牛の話をしましょう。

太平洋戦争終結と共に農地解放を受けた我が家は、突然の俄百姓となり、生計を立てるために稲作、養蚕、果樹等一生懸命に働きました。その中で酪農もあ



とようやく自由に草を食べて、天竜の水で身体を洗ってやるととても気持ち良そうに昼寝をしました。私が高い草の間にうもれて本を読んでいると、時々心配なのか私の顔をのぞきに來て、「大丈夫ここに居るよ」と声をかけると、又安心して草を食べに行きました。この牛も私が下市田を離れる時に売られて行きました。モーモーと鳴く声が今も耳に聞こえて来る様です。思い返せば幻のような時の流れでした。

隠れた善意紹介

南小学校の通学路 いつもきれいに清掃奉仕活動

一区 北沢義弘

高森南小学校は段丘の上であり、古木の桜学校として名高い学校です。

下市田の多くの学童は東正門より校舎に入って登校します。東正門までは山の中を曲がりくねっています。その通学路がいつもきれいに清掃されていることは、多くの皆さんがご存知のことだと思います。学童が気持ちよく通学できるよう、連日清掃奉仕に努力されてい

る、一区の唐沢明夫さん(七十五歳)を紹介いたします。

唐沢さんは学校下の唐沢地籍に、兄さんが亡くなられた平成十一年頃より住まれています。学校に行く途中に唐沢さん所有の山があり、山の様子を見ながら巡回すると、ペットボトルや家庭ゴミ等が不法投棄されているため、山の中に入るとはゴミの回収に努められました。秋になりますと広葉樹のアカシヤの葉の落葉で、特に雨の降った時には



と学童が気持ちよく通学されることを望み、今後も体が続く限り続けたいと言われています。唐沢さんの清掃奉仕に敬意を表します。

唐沢さんの健康維持

お助けマン活動報告

一区 多田井満里子

ております。
最近の活動を報告させていただきます

下市田一区のお助けマンは、現在五人で活動しております。六十五歳以上の方、また一人暮らしの方に声を掛けてお集まり願ひ、楽しい一時をお過ごしただく、そんな計画を立て実行しております。

「ふれあいサロン」当日は自治会三役、民生委員、ボランティアの皆さんにお手伝いをお願いし準備します。お茶を飲みながら気楽におしゃべりを楽しんだ後、昼食を皆さんと一緒に召あがっていただくようにし



私たちは年に春と秋の二回「ふれあいサロン」を主に積善会館で計画実行しております。今後も一人でも多くの皆さんに参加いただき、元気な楽しいサロンとなりますよう心掛けて計画を立てて行きますので、来年度また「ふれあいサロン」のご案内とお誘いが、お助けマンよりありましたなら、是非一度出席してみてください。お助けマン始め担当者全員でお待ちしております。

親睦会紹介

あれちうりの会

二区 松島修三

る顔もあるかと心配したが、かえって若々しく逞しく、

本来我々の「会」の正式名称は「平成十五、十六年度下市田区代議員OBの会」である。

声高にやり合った仲間ではあるが、任期を終えてその職責を離れたら、OBとなつてない友達同士。OBとなつた今は活気にあふれ、血の

しかし始めて二年程の時、楽しみのメンバーが打ち揃って待ち焦がれた旅行に出席したが、その冒頭「それでは始めに会長にご挨拶を」と言う事で会長たる者一言ご挨拶をぶつはめになり、「エー、昨年の旅行より早一年、あるいはよれよれと老いぼれ



分館長・分館主事 研修旅行

平成二十年十一月、恒例の研修旅行がありました。高森町ふるさと祭りを経て一週間後、今年は支館部員の希望者も募り、総勢二十名にて区民会館を出発。

先ずは、ある大手ビルメーカーの名古屋工場へ。何と目的地を間違え大幅に遅れ、着いたところ今度は見学の予約が入っていないとか。せつ

この日は平日だったせいから箱詰めまで機械が動いているところを見られすごいなと感心。案内してくれた若くてきれいな女性に下市田の良い所をあれこれPRし、高森町の人口増に協力しようと。ふと見ると左手の薬指には…。今迄の苦労は何だったのか。宿へ着く頃ちょうど夕陽が海に沈み始め、しばしうっとり。宴会では飲んで飲んで、飲まれて飲んで、飲んで酔い潰れて眠るだけ（どこか

二日目、従来の芝居は見ずに、源義朝公のお墓のある野間大坊にて昔を偲び、一畑山薬師寺ではボケにならぬ様参拝と隠れた名所、旧跡の見学に重点を置き、前日の研修の遅れをカバー。昼食を兼ねたバーベキューでは、乾杯の声があがる毎に周りからは冷たい視線が。南知多ビーチランドではイルカのショーに、しばし寒さを忘れ帰路に着いた。何はともあれ天候に恵まれ（少々寒かったが）研修もすっかり出来、風呂では裸のつきあひも出来、大変楽しい旅行でした。

大島記



写真で残す「萩の郷」 写真集発行のご案内

現在、支館では今年度末の発行を目指し「萩の郷」の写真集を編集中です。区民会館内に常設展示された百点余の写真はもとより、他にも数ある区内の文化財や史跡等の写真が多く掲載されており、協力をお願いいたします。

購入のためアルミの空き缶 収集にご協力を

「萩の郷」に車椅子を贈った話をお聞ふれあい広場」等、開催時には社会から車椅子を借用し、区民会館を利用される皆さん、来館時にお手元にあるアルミの空き缶を毎時、少量で結構ですのご持参下さい。一日も早く目的の車椅子が購入できますようご協力をお願いします。区民会館前の駐車場、シクラメンハウス側に箱が設置してありますので投入して下さい。

支館図書ピーアール

私からお薦めの二冊

◆「60歳のラブレター」

若いうちはお互い好き勝手に生きてきても、六十歳の定年を境にお互いに助け合って「共に元気で過ごそうね」と、これから先の夫婦の姿を思いうかべて読みました。

一区分館長 片桐 幸男

◆コミック版

「プロジェクトX」

諦めることなく、目的に向かって前向きに努力するところがコミックでわかり易く描かれている。

二区分館長 大沢 操

◆「野生のうた」

著者は元高森中学校長の宮下和男先生。喬木村出身で児童文学者の椋鳩十の飯田中学卒業後の生涯について書かれている。伝記を通じて鳩十の文学の考え方が伝わってほしい。

三区分館長 松村 一

◆「あなたはひとりじゃない」

今、思春期の子どもさんを持ち、悩める親御さんが

読まれると、得るものがきっとあると思います。「だからあなたも生きぬいて」という著者自身の人生をまとめた一冊もあります。

四区分館員 牧内 信子

◆「十二番目の天使」

涙が止まらないほど感動の物語。最後まで諦めないぜったいぜったい諦めない一人の子が周りの人皆に感動を与えていく。こんな純粋な気持ちになれるだろうか？泣きっぱなしの物語でした。

五区分館副部長 藤田 和子

◆「一台のクルマがあれば人生をかえるのに充分だ」

我々、団塊の世代にとって、自分の成長と一緒に育ってきた車。そんなクルマの生い立ちを、改めて知るの

が楽しい。

六区分館主事 久保田 裕人

お薦めの一冊をご推薦頂いた皆さん全員の読後感想を、区民会館内貸出し図書脇に掲示いたしました。ぜひ、ご覧ください。

区民会館大掃除

師走に入ってもめずらしく好天に恵まれた十二月七日の日曜日、午後二時から三時半まで、恒例の区民会館の大掃除が行われました。

台所の流し台やガスレンジ・冷蔵庫・換気扇もきれいに磨かれ大掃除は終了しました。

一年に一度の高天井や玄関のすす払い、窓ガラス拭き等それぞれ割り

これからも地域の皆様との交流の場として、この区民会館が、大勢の方々に御利用頂けますよう、願っております。

自主的に和気あいあいのうちに掃除ができました。大勢の協力により、手早く細かい所まで配慮が行き届いたと思います。

掃除終了後、区民会館へ車椅子購入のためのアルミの空き缶収集箱を作りました。

編集後記

お祈り致します。

先号に掲載のとおり、本年度に支館では「写真で残そう萩の郷」事業に取り組みました。この事業をご提案下さった富田隆仁、元区長さんが十二月にご逝去されました。六月中旬の事業打合せ時にはお元気で、また十一月一日発行の71号には関係記事を寄稿して下さいましたのに、本当にビックリしました。完成した写真をご覧いただく事無く旅立たれてしまわれ、本当に残念に思います。ご冥福をお祈りに。

北林 記